

令和7年11月17日（月）

19：00～20：30

対面開催

札幌デイケア協議会 定例会のご案内

◇◆◇ 今月の例会のテーマ ◇◆◇

デイケアを縦糸に ボーダーが紡ぐリカバリーストーリー
～あの子、今、支援者してるってよ～

札幌の街中でも初雪が降り、季節はまもなく冬本番となります。早いもので、今年最後のデイケア協議会のご連絡となりました。

今年の締めくくりとして、どのようにテーマを設定していくか世話人で検討を行いました。「今後のデイケアの在り方」「（デイケアの）存在意義」「DCに求められているもの、その表と裏」「機能分化とサービス（治療）がもたらす分断化」「時間という縦軸」「関わり続けることのできる環境」「専門職スタッフは本当に"デイケアの専門職"か」などがキーワードとして上がってきたところです。

その中で、もう一つ上げられたのが「ピアサポーターについて」でした。札幌市内のDCでは未だピアサポーターを導入している所は多くはありませんが、関心は大きいかと思います。

「専門職スタッフとの違い」「DCにピアサポーターを導入する意味」「ピアサポーターはDCに馴染むのか」「どのように導入すればよいのか」「そもそも、DC自体がピアサポートの場になってはいないのか」等々、様々な角度から皆さんと話し合いたいキーワードが出てきたところ。そこで、今回の例会では、フリーで活動しているピアサポーターの方にスピーカーとしてお越しいただき、利用者としてデイケアを体験し、現在のピアサポーターとしての活動につながっていった経緯や思いを語っていただくと同時に、「デイケアとピアサポーター」について、皆様と語り合えたらと考えます。多くの皆様のご参集をお待ちしております。

【ゲスト・スピーカー】 木村麻衣 さん（フリーピアサポーター）

機能不全のご家庭に生まれ、思春期の危うく既遂になるほどの自殺企図や結婚離婚を経験しながらも、這々の体で21歳でデイケアに辿り着く。

そこでもスタッフやメンバーと数多の衝突を繰り返し、紆余曲折しながら、デイケアプログラム(SST、アングア、WRAP、就労支援)、ピアスクール等を経て、現在は支援者として働いている。36年の人生を振り返りながら、わたしにとってデイケアとは何か？について話したい。

申し込み：不要。直接会場へお越しください。（参加費無料）

デイケアに関心がある方であれば参加可能です。

開催場所：札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 2階 会議室

※WEST19の地下駐車場は使用できません。公共交通機関あるいは近隣の駐車場をご利用下さい。

担当：小沢（さっぽろ香雪病院）、松田（北海道大学）、佐藤（岡本病院）